

1 令和3年度大学入試より

入試改革やコロナ禍に翻弄された73回生（この3月に卒業した学年）が受験した令和3年度入試は、心配された受験生の間での新型コロナウイルスによる感染拡大もなく、概ね予定通りに行われました。日本全国のこの学年の人たちが、自覚を持って行動し、細心の注意を払った成果だと感じます。緊急事態宣言と大学入試が重なったなか、この学年の人たちの意識の高さに本当に頭が下がります。本校でも「受験生」となる3年生を中心に、今まで以上に自覚を持った行動が求められます。

(1) 本校の入試結果より

第一希望を貫いた生徒が多く、好結果が出たように感じています（詳細は、『最近3か年（平成31年度～令和3年度）大学合格者数』をご覧ください）。最後まで粘り強く学習をしていた姿勢は目に焼き付いています。部活動の最後の大会がなくなったり、新型コロナウイルス感染拡大による例年と違った動きを求められたり、我慢を強いられた学年でした。しかし、73回生の人たちは、3年生2学期の目標でもあった「泰然自若」の態度で学習を進めていました。この学年の強さは「みんなでがんばる」という意識の強さではなかったか、と感じています。「受験は集団戦」といわれますが、まさにそれを実現した学年でした。これを後輩も引き継ぎ、よき伝統にしてほしいと思います。

73回生の好結果の要因について、進路指導部会でも話し合いました。「予習がしっかりできていた」、「補習の出席率がよく積極的に取り組んだ」、「刈谷高校の教材を自力できちんとやり遂げた」、「学習室で自習している人が多かった」ことを確認しました。ぜひ、参考にさせていただいたら、と思います。

(2) 全国の入試概況

令和3年度大学入試では、国公立大学入試において、とりわけ愛知県では例年に比べ県内の国公立大学を受験する人が多かったようです。言い換えれば、県内にとどまった受験生が多かったということになります。本校は数多くの生徒が名古屋大学を中心とした愛知県内の大学を受験します。この傾向はおそらく今後も続くことが予想されますので、先輩の経験を参考にしてもらおうとよいでしょう。その具体策として、進路指導部からは、3年生に向けて「私の受験勉強法」という難関大学に合格した先輩の体験記を定期的に配付しています。3年生は真剣に目を通していただきます。

また、全国的に例年より志願者を集めた学部は「医療系、生活科学系」の資格が取れる学部でした。医療系では特に看護、薬学の人気が高まりました。コロナ禍で覚悟を決めて医療系を選んだ人が多かったそうです。逆にコロナ化で人気落ちたのは国際関係でした。数年先の世の中の情勢が予測できない時代でもあるので、自分の将来を真剣に考えることが重要だと感じています。進路指導部としても手助けとなる情報を提供します。

(3) 「進路の手びき」の配付

5月下旬ころに配付予定の進路の手びきに、73回生の「合格体験記」を掲載しています。お子様に配付しますので、ぜひ参考にさせていただき、お子様と情報を共有していただければと思います。なるべく多くの後輩たちに役立つようにと考え、例年より多くの合格体験記を掲載しました。進路指導部員で見直しをしましたが、私たち大人が読んでも「なるほど」とうならされる体験記も多いので、後輩たちにも役立つはずです。

2 「愛知県立刈谷高等学校進路シラバス」

今年度、本校の「進路シラバス」を作成しました。各学年 PTA 総会資料に付してあります。生徒には4月8日に配付しました。この「進路シラバス」については、進路指導や活動を通して改善できる部分は修正しながら発展させていきます。受験を含め、先を見通した行動が重要となります（「進路シラバス」と「各学年（3年分）進路指導方針」は本校ホームページにも掲載します）。「第一希望合格」から逆算して行動するための指標にしたいです。

先日、「新旧3年担任会」を実施しました。73回生の担任の先生と現3年生の担任の先生が一堂に会し、長時間にわたり具体的な事例をもとにした説明や意見交換を行いました。充実した会議でした。今後も学年間の継承をうまくやっていきたいと考えています。

3 生活実態調査より

4月中旬に各学年で生活実態調査を行いました。各学年の調査結果を確認しましたが、2点ほど気になることがありました。1つめは、3年生の睡眠時間についてです。平日平均6.4時間でした。総体予選直前、早朝補習開始が重なった時期でもあります。私個人としてはやや短いのではないかと感じています。睡眠時間を中心に生活リズムを組み立ててほしいと思います。たしかに、部活動に予習、早朝補習と刈高生は目が回る忙しさです。しかし、過去の先輩方はそれを乗り越えて文武両道を貫いた末に好結果を出し、刈谷高校の歴史を形作ってきました。前述した「合格体験記」や「私の受験勉強法」にヒントがあると思います。先輩の知恵を参考にして乗り切ってほしいと思います。

2つめは、「最も力を入れて学習している教科は何ですか」という質問の結果についてです。2、3年生の結果としては、数学と答えた人が最も多く、次に英語と答えた人が多かったです。前回調査時も同様の結果でした。受験では各教科のバランスの良さが重要となってきます。本校のカリキュラムで定められた各教科の授業をしっかり受けることが、希望進路実現への近道であることは間違いありません。今一度、授業をしっかり受ける、という当たり前のことを徹底してほしいと思います。

（文責 進路指導主事 岩崎 達哉）

4 73回生合格体験記より（一部抜粋）

- 勉強は質だけでなく量も大切だということです。よく人は「だらだら1時間勉強するぐらいなら集中して45分勉強するべきだ!!だから勉強は量より質だ!!」と言います。ですが、理想は「集中して1時間勉強する」ことだと思っています。
- 授業や補習をないがしろにしないということです。自分に合った勉強法を確立することが最重要ですが、私はもらえる機会や知識を最大限吸収しようと、授業や補習に精力的に取り組みました。
- できないことをできないと認めること。私は1、2年の頃まで数学の勉強をおろそかにしていたため、定期テストでは平均点より少し下か上くらいでした。しかし、3年の春に受験を意識しはじめたころ、ようやく数学ができないと自分の中で認めました。本当にできないと認めることは無敵です!
- 受験には、点数がとれるかどうかだけでない要素がたくさん存在します。視野を広く持ってください。何が起きても落ち着いて対応してください。そしてひたむきに頑張ってください。それらを支えるのは、あなたの「この大学に受かる」という覚悟です。
- クラスと一緒に勉強する友達を見つけることができたので、それからは平日の授業後、土曜日の学習室、夏休みや冬休み、2月の自由登校の時期など、ほぼ毎日誘い合って勉強していました。自分一人では絶対に続かなかったと思います。

参考資料

河合塾、ベネッセコーポレーション各種進学指導資料、73回生合格体験記